

目標達成計画

作成日: 令和 2年 1月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No35	年に2回の消防訓練および、法人が開催する防災の勉強会に参加はしているが、在籍している現スタッフは家庭の事情、シフトの都合等もあり、全員が参加できているわけではない。	全てのスタッフが防災の知識を有し、有事が発生した場合にも迅速且つ円滑に対応できるように備えておくこと。	法人が開催する勉強会に出来る限り、参加スタッフが偏りのないように参加する。部署内の定例の会議においてもシミュレーションやロールプレイなどの方法を用いて災害対策の勉強会を行う	6～12ヶ月
2	No36	スタッフの対応が悪意がなかったとしても、結果的に「不適切な介護」とならないよう日常的に心掛ける必要がある。	常に入居者、または家族目線で介助にあたり、誰が見ても不快でない介護を目標とする。	接遇や認知症の心理状態を学び、「不適切な介護」が起こらないようにする。	6～12ヶ月
3	No49	定期的にスタッフ、地域のボランティアの付き添いで散歩に出掛けているが、真夏、真冬は身体的な負担も考慮し行わない日が増える。	心身の衛生上の観点から、少しの時間でもまめに外出することを心がけ、認知症の予防などに努めなければいけない。	雨天で無い限り、散歩に出掛けられなくとも、庭に出て外の空気を吸うことで、認知症予防や心身のリフレッシュにつなげる。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。